

2022年7月26日 第51回研究報告会 山内所長 挨拶

運輸総合研究所所長の山内でございます。

本日は大変お忙しい中、1日目の「研究報告会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

さて、私からは、本日の研究報告2本について簡単に解説をしたいと思います。

最初の発表は、覃子懿研究員より「公共交通利用がソーシャルキャピタル醸成に与える影響についての考察」について報告いたします。

地方では公共交通の事業規模縮小やサービス停止による住民モビリティの低下、地域コミュニティや社会ネットワークの衰退などが懸念されています。公共交通の事業継続を検討する際、これまで経済的利益を重視した費用便益分析などが用いられてきました。本日の報告では、ソーシャルキャピタルというアプローチに基づき、公共交通がもたらす社会的な利益も考慮すべきと立場から、公共交通とソーシャルキャピタル醸成の関係性を検証しています。

コメンテーターは、関西大学経済学部の宇都宮 浄人教授です。交通経済学、経済統計学がご専門でいらっしゃいます。どうぞよろしくお願い致します。

休憩を挟んで、二番目の発表は、安達 弘展研究員からの報告で、「新型コロナウイルス感染症が出張需要に及ぼす影響に関する研究」についてです。

COVID-19の感染拡大を契機に、移動の自粛や働き方の変容が進んだことから、企業の出張が大幅に減少し、鉄道や航空等の幹線交通の需要は著しく低迷しています。本日の報告では、COVID-19の感染拡大が企業の国内出張行動に与えた影響について、WEBアンケートの分析結果について報告します。

コメンテーターは、東北大学災害科学国際研究所/大学院工学研究科の奥村 誠教授です。土木計画学、都市間交通計画がご専門でいらっしゃいます。どうぞよろしくお願い致します。

以上が本日の研究報告の内容となります。

長時間ではございますが、お時間の許す限りご参加いただければ幸いです。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上